

わが学び舎 松高小



八代市立松高小学校
学校だより
NO. 5
令和4年7月15日
文責 校長 入佐正夫

当たり前のことが当たり前ができる学校へ・・・公共の場で過ごし学ぶ意味



長かった1学期も来週で終わります。コロナ禍の毎日ですが子供たちの頑張った姿をたくさん見ることができました。特に1年生は、学校生活のリズムにも慣れ、先生の話をしっかり聴き、学習に向かう姿がずいぶんと身につけてきました。「自分のことは自分でできる1年生になりましょう。」と入学式の時に話をしましたが、そのような姿の1年生が少しずつ見られるようになりました。また、2年生から6年生も一つ上の学年になり毎日の学びを通して成長している態度を見ることができています。しかし、残念なこともあります。それはこちらからあいさつをしてもあいさつがでない子供やあいさつをしない子供、そして基本的な学校生活のルールを守ることができない子供たちがまだまだいることです。これらのことは人として大切な社会性の基盤であることから今後も継続した指導を行っていきたいと思います。

さて、保護者の皆様もご承知の通り小学校は、将来の自立に向けてその基礎基本を身につける「学び」の場であり、自分の家ではない「公共施設」です。その区別、違いについては、各家庭で子供たちにいつもお話をしているものと思います。また学校は1年生から6年生、先生たちが一緒に集団生活をする場所です。そのような場所であるからこそ、集団生活（学習も含む）を送るためのきまり、ルールがあります。

つまり、学校とは、大人の社会生活と同じ仕組みで動いている場であり、家庭で身につけた生活力・社会性を年齢に応じて発揮する場ということになります。そして学校は、いわゆる個人のしつけをする場ではなく、集団生活・社会生活を送る上での社会規範を学び実践する場ということになります。しかし、それが成り立つためには、家庭で身につけた力（自立、自律、規範意識）を学校で一人一人が発揮することが必要です。

それを支えるものとして私たち大人（教職員と保護者・地域の大人）が子供たちの行動規範・社会規範のお手本になることを何より大切にしていきたいものです。



今年度から学びの評価を二期制とします。通知表は10月中旬と3月下旬の2回です。

5月にお知らせしましたが、今年度から評価を二期制にします。それに伴い、通知表は、年間2回（10月中旬と3月下旬）になります。

*評価の二期制導入の主な理由は以下の通りです。

- ①各学期末において、子供たちは落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組むことができ、学習内容の定着のための時間を十分確保することができる。
- ②教職員が前期の評価及び通知表作成の準備を夏季休業期間中に行うことができるため、1学期末も含め、授業期間中に子供と向き合う時間を十分に確保することができる。
- ③1年生の1学期及び全学年の3学期は、学習内容が少なく評価しづらい傾向にあり、評価の期間を延ばすことで、より適切で合理的な評価ができる。
- ④これまで年3回設定していた評価や通知表作成に向けた事務整理の期間を年2回に減らすことができるため、より充実した学習指導及び授業時数の確保につながる。

以上のように、本校におきましては、評価の二期制を導入することにより、子供たちの学力向上及び適切な評価につなげていきたいと思っております。

夏休みは、コロナ感染防止・熱中症防止努めるとともに生活のきまりを守り安心・安全な毎日を送りましょう



来週の7月21日（木）から8月24日（水）までの期間、夏休みとなります。安心・安全で楽しい夏休みにするためには、「夏休みのくらしのきまり」を守り、規則正しいリズムで、毎日を健康に過ごしてください。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底（行動）をこれまで同様、ご家庭でも引き続きお願いします。